

バイオ甲子園2024



最優秀賞

広島県立西条農業高等学校 自然科学部

「食用コオロギ飼育廃棄物から土壌改良材を開発
～フンに含まれるセルロース分解菌に着目して～」



優秀賞

熊本県立済々黌高等学校 生物部

「発達した神経系を持たないウ二類に長期記憶が確認された」



優秀賞

群馬県立利根実業高等学校
グリーンライフ科 森林科学コース キノコ研究班
「ソバ殻と三番粉を活用したキノコの栽培実験」



特別賞 平田機工(株)賞

鹿児島県立錦江湾高等学校 2年SRカニ班

「鹿児島県におけるスナホリガニ類の分布と
識別に関する研究」



特別賞 堤化学(株)賞

福岡県立小倉高等学校生物部（ユーカリ班）

「ユーカリの可能性

～ユーカリの葉の抗菌作用・抗真菌作用と抗酸化作用の
確認と応用～」



特別協力

NICHIRYO賞

熊本県立天草拓心高等学校マリン校舎
海洋科学科 栽培食品コース栽培系

「藻場造成を踏まえたウニの市場価値向上に向けて
～環境改善と海洋資源の活性化に向けた取組～」



バイオ甲子園2024

入賞

学校法人池田学園池田高等学校 チームサクラ	‘染井吉野’の開花予想に挑戦 ～600°Cの法則から池田モデルの作成へ～
長崎県立島原高等学校 文理探究科 理数探究コース	メダカの体型を解明するのに七転び八起き ～ダルマ型体型になる原因の追究～
沖縄県立球陽高等学校 生物部	沖縄産クロトゲアリのワーカーによる世話 対象の女王の選定

入賞式・選手宣誓



発表風景



情報交換会



バイオ甲子園2024総評

高校生の皆さんお疲れさまでした。そして日頃研究指導に尽力されている先生方お疲れさまでした。ありがとうございます。

バイオ技術、バイオテクノロジーというのは生物の機能を私たちの生活に役立てていこうというのがキーワードになっており、拝聴していますと基礎研究から応用研究、生態環境からそして産業利用まで幅広く興味深く聴かせていただきました。まさにこれがバイオの研究範囲だなと強く感じたところです。もちろん基礎研究の大切さもありますし、それを発展させて応用して私たちの生活に役立てようとする研究、またSDGsについても一般に聞かれる時代になっており、それに通じるような研究もありました。そして何よりも感心したのは、質疑応答に対する回答です。皆さん日頃良く勉強されているなということを強く感じました。この経験は大学に進学してあるいは社会に出て、地域あるいは世界で益々活躍してくれるものと思いました。これからも飛躍して行ってほしいと思います。そして2年生1年生の後輩の生徒さんは来年度もそして来年再来年と続けて応募してぜひ今後の研究の続き、あるいは新しい研究についてまた発表していただければと思います。今後ともバイオ甲子園でのエントリーそして発表をよろしく願います。

本日は本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。

バイオ甲子園2024 審査委員長